

受入農家訪問 第2弾！

2014年5月10日 / 第50号

2009年6月に刊行した「農業サポーター通信」も今回で第50号を発行することが出来ました。

これも皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。今後もよろしくお願いいたします。

さて、今号も新規受入農家さんをご紹介します。

今回は、西区と江南区の農家さんです。

西区黒鳥：本間さん

稲作と枝豆、切花の栽培をされている本間さん。稲作の方は、息子さんに任せているそうですが、枝豆の栽培とチューリップの切り花は、奥さんと2人頑張っているとのことでした。伺った日は、サポーターの風間さんと枝豆の種まきをしていました。「これから7月末まで植え込みをして、その後、植え込みと収穫が10月中頃まで続く。それからチューリップの球根を植え、12月中旬から3月まで出荷作業が続く。」とおっしゃっていました。また、この日活動されていた風間さんは、サポーター歴5年目のベテランサポーターです。農業サポーター通信第48号で紹介した「もったいないくらぶ」に加入されており、この日は早速新規受入農家の本間さんのサポートをしていただいていた。



流れ作業で手際よく「枝豆の種まき」をしています。昔ひと粒ずつ撒いていましたが、今は新兵器が誕生し、一時に撒くことが出来ます。

江南区砂山：渡辺さん

江南区の渡辺さんも息子さんと2人、水稻を中心に玉ねぎや長ネギを栽培されています。

渡辺さんのお宅の「田植え」は5月10日頃からということで、伺った日は「玉ねぎ畑」へ案内していただきました。



玉ねぎ畑の管理作業 来月の収穫を待つ玉ねぎ達

畑に入ると「水をやらないと。」「草取りも…」と次々に気になることがある様子。農作物を育てる事は、多くの手間が必要になるということを再認識させられます。

でも、渡辺さんは農家だけでなく、自分で打ったそばを使って「蕎麦屋」を開いている2足の草鞋を履く農家さんです。「そば」に対する思いも強く、「将来耕作放棄地にそばを植え、粉から地産地消を目指したい。」と話してくださいました。「そば・そば打ち」に関心のあるサポーターさん、一度連絡してみたいはいかがですか？

北区の安部さんから緊急サポート募集！！



就農3年目、受入農家になって2年目の北区安部さんからサポーターの皆さんに緊急募集の依頼がありました。

安部さんは奥さんと二人「競馬場インター脇のハウス4棟にイチゴを栽培し太夫浜小学校の隣のハウス4棟と露地に野菜を栽培しています。

今は、イチゴの収穫が最盛期となり朝5時から収穫作業に追われ、日に200~300パックを出荷しているそうです。

イチゴの収穫は7月上旬までつづき、朝小学生の子どもを家に残し、夜は7時過ぎまで頑張っていますが、仕事が追い付かない状態だそうです。サポーターの皆さん！お手伝いをお願いします。



いくとぴあ食花 ゴールデンウィークスペシャル！ 開催

4月26日から始まった「ゴールデンウィーク」。受入農家の皆さんは、田植えや花粉づけ、イチゴの収穫など猫の手も借りたいほどの多忙な日々をお過ごしだったことと思います。しかし、飛び石とはいえ、世は大型連休、天候にも恵まれ、連日たくさんの人出でにぎわっている様子が、ニュースでも取り上げられました。

「いくとぴあ食花」においても“ゴールデンウィークスペシャル”を開催。食育、花育の体験や季節の花販売、花絵作りなど大勢の皆さまからご来館いただき、お楽しみいただきました。

そんな中、6月21日にグランドオープンする「食と花の交流センタープレオープン企画」として、カフェ・グルメ、マーケットの出店がありました。

連休前半のマーケットには、受入農家の「諸橋弥次郎農園」さんからご出店いただき、朝どりのイチゴ（越後姫）やつきたての草餅などを販売しました。

当日、販売のお手伝いをさせていただいたサポーターの小野島さん「販売の仕事は初めて、お客さんにたくさん買ってほしいけど、どう声をかけてよいかわからず初めは戸惑ってしまいました。でも、少しづつ慣れてきたので声もうまく出るようになった。丹精込めて作ったものをお客さんがおいしそうに食べているのを見るのはうれしい。」と、話してくれました。



「いらっしゃいませ。甘いイチゴはいかがですか。」
優しい声に誘われて、お客さんが集まってきました。

何でも掲示板

農業サポーターの和田さんから「舞平公園で開かれた高橋農園さん主催の観桜会」の投稿をいただきましたので、ご紹介します。

【舞平公園で観桜会】

去る4月12日、舞平公園において江南区の受入農家高橋良夫さん主催の「観桜会」が開催されました。

当日は、サポーター9人とその家族、高橋さんご夫妻、3人の息子さんと長男の家族など総勢20人以上が集まって、満開の桜の下でお花見を楽しみました。宴会場になったシートの上には、高橋さんが朝早く魚市場から仕入れてきた“ぶり”の刺身やおぼあちゃん手作りのおこわ、焼きたての焼き鳥が並び、サポーター手作りの漬物やふき味噌も加わりました。

参加者が輪になって座ると、園主の高橋さんが「サポーターの皆さんには感謝しています。今日は楽しんでください。」と挨拶して、乾杯へ。その後は、食べきれないほどのごちそうの数々とビールや日本酒、焼酎、ウイスキーなどを味わいながらみんなで自己紹介。日頃のサポーター活動や農業のことなどを話題に、普段顔見知りでもあまり話す機会のないサポーター同士や高橋さん一家とおしゃべりに、花が咲きました。



満開の桜、優しく降り注ぐ春の日差し、陽気な仲間たち。楽しい会話に弾む胸。楽しい一日になりました。

事務局からのお願い

- ・ サポーターの皆さんが活動されるときに、登録されていない方を連れていかれる方がいらっしゃるようですが「ボランティア活動保険」に加入していないため、いざというときに保障することが出来ません。活動を希望される方には、是非「農業サポーターへの登録」を、お勧めください。

新潟市農業サポーター 事務局（新潟市食育・花育センター内）

住所：新潟市中央区清五郎 401 番地 電話番号：(025)282-4181 FAX：(025)282-4987

◆電子メール アドレス：shokuikuhanaiku@city.niigata.lg.jp

◆Web サイトのアドレス <http://www.city.niigata.jp/info/ffcenter/nouto/supporter/supporter-kiroku.htm>

◆ブログ版「農業サポーター通信」 <http://agri-supporter.shokuhana.com/>

携帯電話はこちらから⇒

